

2007年上半期 [1月～6月] 不正アクセス届出状況

独立行政法人 情報処理推進機構(略称:IPA 理事長:藤原 武平太)は、2007年上半期 [1月～6月]のコンピュータ不正アクセスの届出状況をまとめました。

2007年上半期の届出状況から、最近の傾向としては、

- アプリケーションの脆弱性を突く攻撃が多い
- SSHで使用するポートへの攻撃が多い

と言えます。以下のサイトを参考にコンピュータセキュリティ設定の徹底及び日常の運用管理によるセキュリティ対策を継続するよう心がけてください。

- セキュア・プログラミング講座 Webアプリケーション編

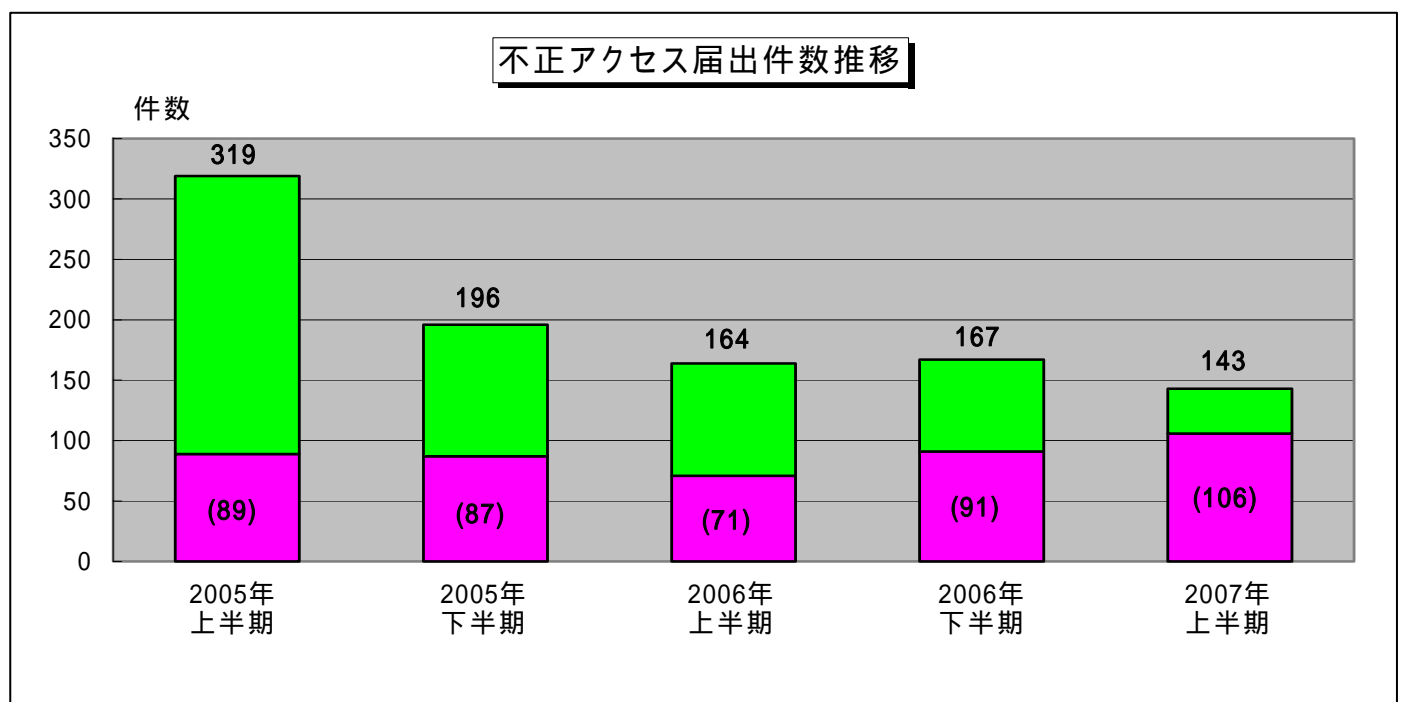
<http://www.ipa.go.jp/security/awareness/vendor/programmingv2/>

- 情報セキュリティ対策実践情報 システム管理者向け

<http://www.ipa.go.jp/security/awareness/administrator/administrator.html>

1. 届出件数

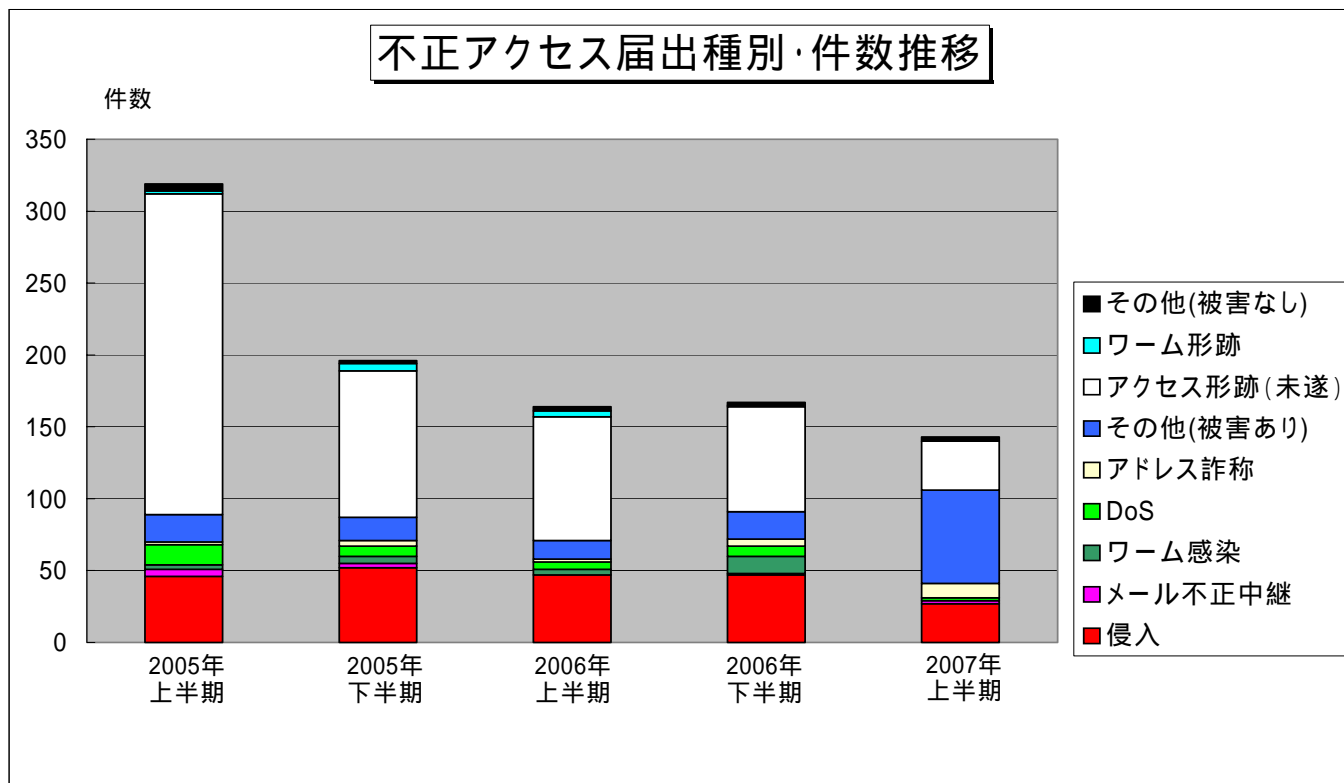
2007年上半期(1月～6月)の届出件数は合計143件となり、先期に比べ届出総数は約14%の減少、被害にあった件数の割合は約16%の増加となりました。



注) グラフ中の()表示は、届出総数のうち被害があった件数を示しています。

2.届出種別

IPAに届けられた143件のうち、不正なアクセス形跡を発見した「アクセス形跡(未遂)」の届出が34件(先期73件)と全体の23.8%を占めました。また、実際に被害があった届出は106件(先期91件)と全体の74.1%を占めました。実際に被害に遭った届出とは「侵入」「ワーム感染」「アドレス詐称」「メール不正中継」「DoS」「その他(被害あり)」の合計です。



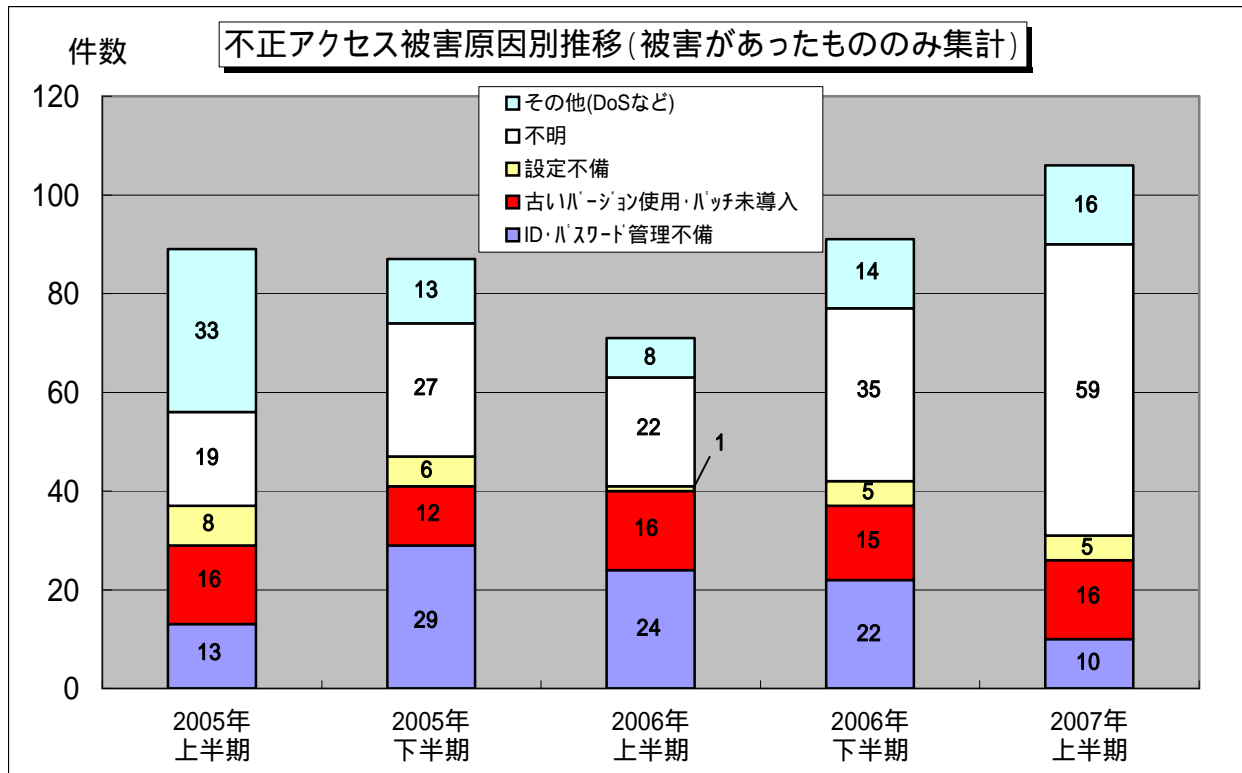
	2005年 上半期		2005年 下半期		2006年 上半期		2006年 下半期		2007年 上半期	
侵入	46	14.4%	52	26.5%	47	28.7%	47	28.1%	27	18.9%
メール不正中継	5	1.6%	3	1.5%	0	0.0%	1	0.6%	2	1.4%
ワーム感染	3	0.9%	5	2.6%	4	2.4%	12	7.2%	0	0.0%
DoS	14	4.4%	7	3.6%	5	3.0%	7	4.2%	2	1.4%
アドレス詐称	2	0.6%	4	2.0%	2	1.2%	5	3.0%	10	7.0%
その他(被害あり)	19	6.0%	16	8.2%	13	7.9%	19	11.4%	65	45.5%
アクセス形跡(未遂)	223	69.9%	102	52.0%	86	52.4%	73	43.7%	34	23.8%
ワーム形跡	2	0.6%	5	2.6%	4	2.4%	1	0.6%	0	0.0%
その他(被害なし)	5	1.6%	2	1.0%	3	1.8%	2	1.2%	3	2.1%
合計(件)	319		196		164		167		143	

注) 網掛け部分は、被害があった届出種類を示しています。

割合の数字は小数点第二位を四捨五入していますので、合計が100%ちょうどにならない場合があります。

3. 被害原因

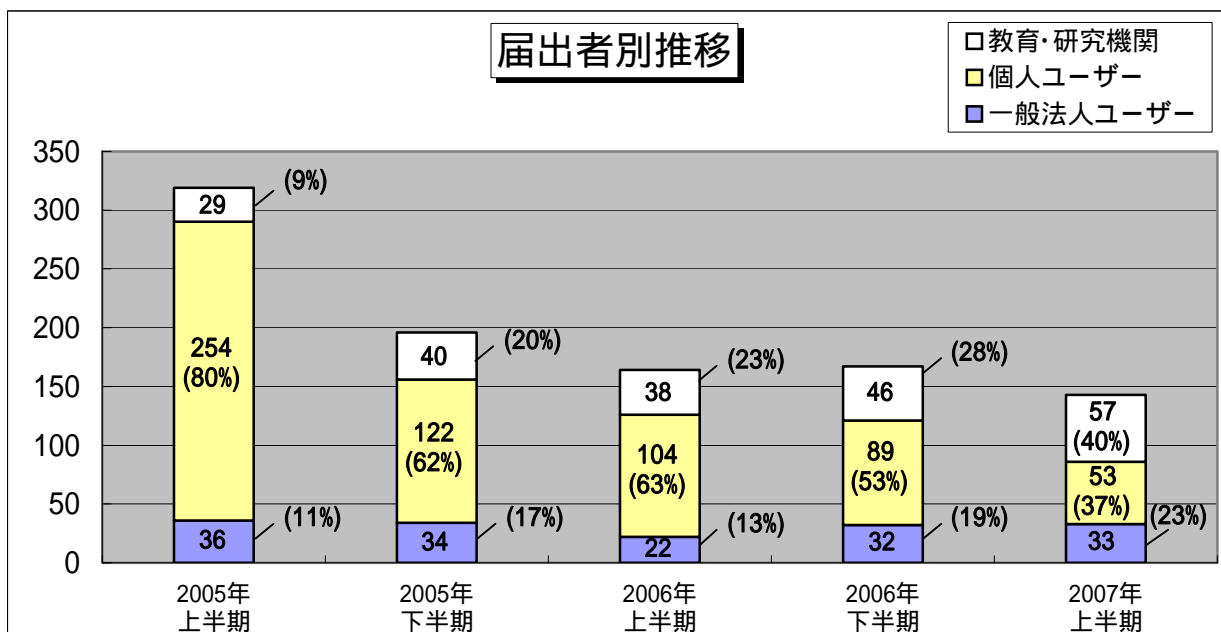
実際に被害があった届出（106件）のうち、原因の内訳はID・パスワード管理不備が10件、古いバージョン使用・パッチ未導入が16件などでした。



注) 被害原因が複数あった届出については、1件の届出につき主たる原因を代表として1件と集計しています。

4. 届出者の分類

届出者別の内訳は、教育・研究機関が57件（約40%）を占め、増加傾向にあります。



お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター
加賀谷 / 花村 / 宮本

Tel: 03-5978-7527 Fax: 03-5978-7518 E-mail: isec-info@ipa.go.jp